Angin
～ 風 ～

令和４年５月 13 日
CJS 校長室便り NO2
校長 茂 泉　和 浩

令和４年度　学校運営について

学校がスタートしてから約１か月が過ぎました。子供たちの人数が昨年度末の２倍近くになったこともあり、授業中の歌声や休み時間の歓声が校舎内に響き渡るようになりました。当初は、編入生の増加や教師の大幅な入れ替えによって友達や教師との関係構築ができるかどうか心配しましたが、子供たちは毎日の学校生活を楽しんでいるようです。

さて、本校では開校以来、「自立と共生の力を身に付け　日本と世界の未来を拓く 心豊かでたくましい子供の育成」という学校目標を掲げ教育活動を行ってきました。今年度もこの目標に向かって実践を積み重ねていく所存です。私は、この教育目標の「要」は、「自立」と「共生」にあると考えています。家庭や地域、社会の中で人と関わり合いながら生きていくこと（共生）と、人との関わり合いの中で自分を知り、自分のよりよい生き方を探っていくこと（自立）は車の両輪であり、それらを意識しながら教育活動を行っていかなければならないと考えています。そしてインドネシアの人や文化、他国の言語に直接触れる体験を通して国際感覚を身に付け、グローバルな視点で物事を考えられる、心豊かなたくましい子供たちを育てていきたいと思います。

昨日、縦割りハイキング（小１から中３までの異学年集団によるハイキング）を実施しました。年齢の違う子供たちが集まってハイキングをするということは、上級生は下級生のペースに合わせ、安全確認をしながら歩くことが求められます。そして上級生の姿を見て下級生は、導いてくれる上級生に感謝するとともに、いつかは自分も頼りになる上級生になりたいという思いを持つようになります。上級生は、頼りにされることで自分の存在価値を確認し、自己有用感を高めていきます。縦割り活動は、集団への関わり（共生）を通して自分自身の姿を見つめ、自分のよりよい姿を求めていくこと（自立）につながっていくことを期待しています。

委員会花壇、畑の整備について

昨年度は校庭側に水田を作り、５年生の学習で米作りをしました。今年度は、より多くの学年が土に触れることができるようにと、正面玄関近くに畑を作りました。

また、正面玄関横には緑化委員会専用の花壇も作りました。お子様を送迎する際に、花や作物の様子をご覧になっていただければと思います。

（上：畑　　下：緑化委員会花壇）